

秩父市のこれからのまちづくりについて

都市計画マスタープラン・立地適正化計画 住民懇談会意見

1. 意見のまとめ

【人口】

- 何れの地域でも、少子高齢化が問題となっており、地域のコミュニティの維持が難しくなっている。
- 人口が市外へ転出する理由として、働く場所が無い、賃金が低い、家賃が高いという意見が多い。
- 特に若者が転出する理由については、若者にとって魅力的な仕事がない、通勤通学が不便だからという意見があった。
- 原谷、影森や吉田地域の一部では、新たな住宅開発により人口が増加しているが、その多くは、市内山間部や小鹿野をはじめとする周辺自治体からの転居が多い。
- 吉田地域や大田地域では、都内からの移住者を受け入れている事例がみられる。

【土地利用】

- 農業従事者の高齢化により、農地の維持は非常に困難となっている。
- 吉田地域では、皆野の味噌用の大麦やウイスキー用の大麦の栽培、観光農園の運営等、農地を活用している事例がみられる。
- セメント工場の跡地利用の方針に関する質問があった。

【道路】

- 企業誘致や災害時の緊急輸送道路として、国道 140 号バイパスの整備を期待する意見が多い。
- 各地域と市街地中心を結ぶ道路整備を要望する意見があった。

【公共交通】

- 現在は、自家用車が運転できるため公共交通を使っていないとする意見が多い一方で、今後、年齢を重ね運転できなくなることを考えると、公共交通が不可欠であるとする意見も多い。
- 若者の市外への転出を防ぐためにも、東京へ通勤しやすくして欲しいという意見があった。

【観光・産業】

- 道の駅（秩父、大滝）のリニューアルを求める意見があった。
- 吉田地域では、ワイナリーやチーズ工房等、新たな地場産業が盛んになりつつある。
- 西武鉄道の CM や FM ちちぶを活用し、もっと観光面でのアピールをすべきという意見があった。

2. 地域別の意見

<大田>

【人口】

- 幹線道路沿道の農地を住宅にすれば、すぐに売れてもっと人口が増える。
- 山間部から転居してくる人が多い。
- 地域の人口は、毎月1人ずつ程度減少している。
- マスタープランに人口を維持する方策が必要である。
- 若者が地元に戻ってくるには、働く場所の確保が必要である。
- 市外へ通学する高校生が多いため、教育の充実などについて市内で連携して若者が市内に残るよう対策を考える必要がある。
- 空き家バンクを活用し、品川から40代の人に移住してきた。

【土地利用】

- 営農者の高齢化が進む一方で、若い後継者が不足しており農地の維持が困難である。

【道路】

- 東西方向の道路はあるが、中心市街地へつながる南北方向の道路がない。蒔田トンネルの整備を進めてほしい。
- 企業誘致は良いことだが、通過交通の農道や生活道路への進入が多くなるため、企業への市道など安全対策が必要である。

【観光】

- FMちちぶを活用し、秩父市の良いところを発信していく必要がある。

【その他】

- 皆野町との関係が強い。
- 診療所がなくなって困っている。
- みどりが丘工業団地に空き地があるが、老人ホームをつくれれば人が集まるのではないか。
- アンケート調査の結果は公表しているのか。アンケートで寄せられた提案に対して市の回答が必要ではないか。



<影森>

【人口】

○働く場所を確保するなど、若者が移住してくるようなことを考える必要がある。

【空き家・空き地】

○新しい家も建ち、人口が増える一方で、空き家や荒廃農地が増えている。

【公共交通】

○秩父鉄道の影森から先は本数が少なく、通勤通学が不便である。特に子供の通学は不便。

○秩父の道の駅を整備してほしい。

○今後、免許返納を考えると、公共交通の利用に不便を感じる。

○大型のバスではなく、地域をまわる小型のバスがよい。

【観光】

○浦山の観光客が減り、売店もなくなった。

【商業】

○大型店舗が立地し、地元の商店がなくなってしまった。

○運転ができるうちは、買物は自家用車で行くが、運転できなくなったら困る。

○最近、配達や送迎サービスに力を入れはじめたスーパーもある。

【その他】

○免許返納は、若い人で75歳くらいから行っている。月平均12人くらいが返納している。



<荒川>

【人口】

- 若い人の雇用の場がなく、人口減少・少子高齢化が顕著になっている。
- 市全体として子育て層の転入超過がみられるが、小鹿野町などの山間部からの流入が多い印象がある。Uターンもあるが、再び転出するケースもある。
- 子育て層の呼び込みには、例えば「学力向上都市」のように、特徴的なまちづくりの取組を進めることが有効ではないか。

【土地利用】

- とにかく働く場がない。新たな産業用地を開発しても市内での移転が多く、雇用の拡大にはつながらない印象がある。移転後の土地が空き地になるケースもある。

【道路】

- 市外から企業をどのように誘致するかが課題であり、少なくとも国道 140 号バイパスの整備が不可欠と思う。

【観光】

- 観光振興は一つの方向であるが、オフシーズンがあり、安定的な雇用の場となり得るか疑問である。

【その他】

- 秩父市は水源地であることを魅力の一つとして捉え、活用すべきである。CO₂削減のクレジットとして取引することも考えてはどうか。
- 65 歳が「若手」と言われるくらいに深刻化しており、災害時の要援護もままならない可能性があるなど、地域活動が硬直化している。地域コミュニティの維持・強化が不可欠である。
- 秩父市だけでなく、秩父地域として広域的に考える必要がある。地域内で広域的に機能分散するよりも、秩父市に集約するなど、広域でも「コンパクト+プラスネットワーク」の視点が必要かもしれない。
- 現行計画の検証をする必要があるのではないか。



<原谷>

【土地利用】

○セメント工場やブリジストンが無くなってしまった場合の跡地利用が問題となる。

【空き家・空き地】

○世帯分離で新しい家はできるが、その後、親の家が空き家となる。

【道路】

○都市計画道路は、実現が可能なのか。計画の見直しが可能なのか。

○国道 140 号へ抜ける道路、寺尾へ抜ける橋も整備してほしい。

【公共交通】

○鉄道とバスが同じようなところを走っていて、両方とも使いにくい。

○バスが使いたい時間に運行していない。

○コミュニティバスがほしい。

【防災】

○小規模な開発により、排水処理が不十分なまま住宅が建ってしまい、少し低い土地にある既存の住宅が浸水してしまう状況がみられる。

○宅地開発により水路を無くしてしまうこともある。

○道路に側溝がないので水が溢れてしまう。

○住宅が増えているが、基盤がきちんと整備されていない。雨水排水対策を行ってほしい。

【その他】

○計画について、市民への周知が不十分である。地域の現況をきちんと把握したうえで、計画を策定してほしい。



<吉田>

【人口】

- 今後、国の施策で外国人が増えてくるので、秩父市でもうまく活用してはどうか。
- 空き家に3年くらい前、都内からカメラマンの男性と、くるみ細工を行っている女性の夫婦が移住してきている。外国人の奥さんもいて、地域に馴染んでいる。
- 吉田では、源流会や龍勢会など、いろいろな地域組織の活動により、子供や若者が増えている。若者を歓迎する下地が重要である。
- 綺麗なまちづくり、美しいまちづくり、来てよかったと思えるまちや出会いがあるまちをつくることで、秩父市に人が来るのではないかな。

【道路】

- 交通網については、群馬県や山梨県なども含めた広域で考える必要がある。

【防災】

- 台風19号の際、避難場所まで15分程度かかった。もう少し避難場所を設けてほしい。

【産業】

- リタイヤ後、皆野の味噌用の大麦を栽培している。対岸ではウィスキー用の大麦を栽培していたり、観光農園があったり、ワイナリーには食堂があったり、チーズ工房があったり、地場の産業が盛んになりつつある。
- 地域が伸びていくときに、如何に経験豊富な高齢者を巻き込んでいくかが重要と考える。

【その他】

- 条例等の規制により、統一感のある美しいまちなみを形成することも検討して欲しい。
- 計画については、周辺の自治体も含めて検討していく必要がある。
- 今までの計画の策定経緯と、今後のスケジュール、公表時期を教えてください。



<尾田 蒔>

【人口】

○人口減少への対応として、工業や企業の誘致、東京への通勤通学時間を短縮することも重要である
と考える。また、災害の危険の少ない秩父市に国や県の機関を誘致考えてはどうか。

○若者は、製造業へあまり魅力感じていない。秩父からなるべく出て行かないようにするためにはど
ういう方法があるか検討が必要である。

【道路】

○寄居から花園 IC までの一般道を使うことなく、国道 140 号バイパスから直接関越自動車道へ行ける
ようになるとよい。

○山梨県へつながる道路の整備を進めるよりも、関越自動車道へつながる道路の整備を優先する方が
よいと考える。

○定峰トンネルの構想があるのであれば、是非進めて欲しい。

【その他】

○台風の影響でミュージックパークが通行止めになっていた理由を教えてください。



<高篠>

【人口】

- 若者が住みづらい理由は、高い家賃と低い賃金、それと娯楽がないことだと思う。
- 小鹿野から秩父へ移り住んでくる人も多い。秩父市の計画ではあるが、周辺の自治体とも調整しながら秩父地域全体で計画を考えていく必要がある。
- 今は働く場所も考え方も多様化しており、観光客も増えているので娯楽がなくても来てくれる人たちを呼び込んで定住してもらう方法を考えられればよいと思う。

【土地利用】

- 秩父は平地が少なく、土地が多少高くても売れるため、地価が高いと聞いた。

【空き家・空き地】

- 空き家が徐々に増えているが、どのような対策を行っているのか。また、今後15年くらい経つと、空き家が一気に増える可能性があり、今のうちから対策を考えていければよいと考える。
- 土砂災害の恐れがある地域、道路や水道管が老朽化している地域については、住んでもらうために多大なコストがかかるため、全ての空き家を空き家バンクに登録する必要はないと考える。
- 中心市街地で空き家が増えていることに驚いた、小さな商店の商売が成り立たないことが原因なのか。

【観光】

- 街なかを観光客が歩くような仕組みを構築できればよいと思う。

【その他】

- 今までの計画の策定経緯と、今後のスケジュール、公表時期を教えてください。
- アンケートは、もっと若い人の回答があった方がよい。
- 人口減少に話が集中しているように見えるが、秩父には沢山の資源があるので、それらにも焦点を当てる必要がある。
- 人材を如何に育てるかが重要であるため、教育に力を入れ、他の自治体から秩父の高校に越境してくるようになればよい。



<中央>

【人口】

- 災害が少ないのが良いところであり、職住近接で秩父に住んでもらいたいが、実際には難しいと思う。
- 秩父夜祭りには、転出していった若者も一時的にはあるが帰ってくる。
- 人口減少、税収減少を見据えた計画を考えるべきである。

【土地利用】

- セメント工場の跡地利用と、幹線道路の整備はどうなっているのか。

【道路】

- 道路の補修と通学路の安全点検を行って欲しい。

【公共交通】

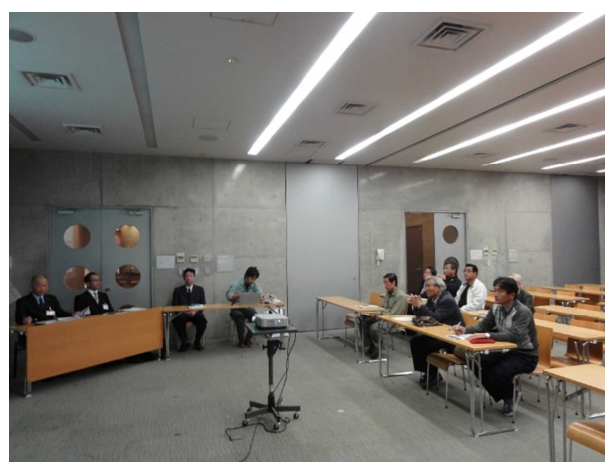
- 東京への通勤が不便であり、軽井沢にも負けてしまう。

【観光】

- 西武鉄道のコマースを活用し、もっと秩父をアピールした方がよい。

【その他】

- 市営住宅をどのようにしていくのか検討する必要がある。
- 第一セメント工場跡地に総合グラウンドを作ってほしかった。部活動の合宿などで、人が集まるのではないか。
- 住民懇談会の周知方法があまりよくない。もっと早く周知すべきである。
- 買物の利便性向上と、楽しく歩くことのできる街なかの道路やポケットパークの整備など、高齢者が住みやすい環境の整備が必要である。
- 今回の住民懇談会の他に、若者や高齢者との話し合いや、ワークショップは実施しないのか。町会の青年部の意見も聞いてはどうか。



<大滝>

【空き家・空き地】

○空き家と空き地、耕作放棄地の活用が必要である。空き家の状況によっては、貸し出しが難しいものもある。

【公共交通】

○車の運転のできないは、診療所への送迎バスを利用している。また、近所に住む家族や隣人の協力により移動している。

【観光】

○大滝トンネルができると道の駅の前を通過する必要がなくなってしまうため、道の駅への影響が最小限となるよう対応を考えて欲しい。

○道の駅が25年経過し老朽化している。

○観光客が増えたことにより、道路が渋滞することもある。

【その他】

○若者が少なく簡易水道などの維持が今後心配である。

○川俣では都内から若者がきており、交流もある。

○今回の住民懇談会は、どのように周知したのか。回覧板を活用すればもっと集まったのではないかな。



<久那>

【人口】

- 人口減少に対応するための移住促進に関する市の方針はあるのか。
- 若者が秩父から出ていく理由は、仕事がない、給料が安い、家賃が高いことである。
- 秩父には若者が働きたくなるような職場が少ない。

【土地利用】

- 用途地域の具体的な見直しの内容については、計画に示さないのか。
- 農地の集約化の話はあるのか。

【空き家・空き地】

- 寄居の地価が安いいため、地価が高い秩父で空き家が多くなる。

【観光】

- 秩父には、心の充足を求めて訪れる人が多いと思う。

【その他】

- 農作物の鳥獣被害がひどく対策が必要である。
- 現行の都市計画マスタープランの進捗状況はどうか。



■住民懇談会開催状況

日付	曜日	場所	開始時間	参加人数	場所	開始時間	参加人数
10月15日	火曜	大田公民館	18:30	8	—	—	—
10月16日	水曜	影森公民館	18:30	7	—	—	—
10月17日	木曜	荒川公民館	18:30	14	—	—	—
10月20日	日曜	原谷公民館	14:00	10	中央公民館	18:30	0
10月23日	水曜	吉田公民館	18:30	11	—	—	—
10月24日	木曜	尾田蒔公民館	18:30	27	—	—	—
10月25日	金曜	高篠公民館	18:30	16	—	—	—
10月26日	土曜	中央公民館	18:30	8	—	—	—
10月30日	水曜	大滝公民館	14:00	7	久那公民館	18:30	7